



2023年 8 月 17 日 第2530回例会
8 月第 2 例会

RI会長テーマ: Create Hope in the World
「世界に希望を生み出そう」

本年度会長テーマ Build FUTURE
「50年の過去に感謝し、50年先の未来を築こう」

「会員増強・新クラブ結成推進月間」「平和月間」

◆ 会長時間 ◆

諏訪(浩)会長

【ロータリーの「情報伝達」について】

ロータリーは「自己教育運動」です。



今年度が始まって1ヶ月半、事あるごとに「ロータリーは自己教育運動ですよ」と申し上げてきましたが、比較の入会間もない方々から、「すっきりしました」あるいは「もっと早く聞きたかった」という感想をいただきました。コロナ禍の影響もありますが、残念ながら、特に近年はこういう情報がうまく伝達されていなかったようです。

今日は、情報伝達についてお話しします。営利企業では「ハウレンソウ」などの伝達ルールがありますが、ロータリーは営利企業とは目的も運営方法も全く別物ですから、こういう一般社会のルールはふさわしくありません。

ロータリーは皆平等ですから情報格差を作らないことが大切で、情報はごく一部を除いてはみんなが知っているべきものです。それは、どのようにして実現できるのかというと、これは理事研修と委員長研修で申し上げた、常任委員会と小委員会によってです。具体的には、まず、理事の皆さんは、部門に属する小委員会の委員長さんを集めて、月に1回の「常任委員会」を招集し、そこで、理事会で何が語られ何が決められたかを伝達します。そして次に、各委員長さんは、委員を集めて「小委員会」を開催して、常任委員会で伝達された情報を伝達します。常任委員会が毎月開催

されるので、小委員会も毎月開催する必要があります。

もし、常任委員会が毎月開催されていなかったら、また、常任委員会は毎月開催されていても、そこで得た情報を委員長さんが月1回の小委員会で伝達しなければ、クラブ全員に情報が伝達されません。月1回の常任委員会、月1回の小委員会開催は、全員が情報を共有する上で、非常に大事なのです。

実は、この1ヶ月半の短い間でも、「委員長が一人で決めたから知らなかった」とか「委員会は1回しか開催していません」などのお声が届いています。察するに、全ての会員が情報を等しく共有することはできていないようです。

まだまだ残された期間の方が多い今、情報伝達における委員会開催の意味を再認識いただき、必要最低限、つまり月1回の委員会は開催していただきますよう、お願い申し上げます。



「奉仕の理想」合唱



卓話「被爆の実相を世界へ」

● 第2回理事会議事録

日時 2023年8月10日(木) 例会終了後～

場所 ANAクラウンプラザホテル広島 4階
「アマリリス」

報告事項

各委員会活動状況について

1. 田原理事より、IACの育成費の贈呈に関して…本年度は8月31日の例会の委員会報告時間に担当教員と生徒に活動報告をしてもらい育成費の贈呈をさせて欲しい。
2. 田島理事より1月の台南RC70周年に参加するスケジュールの確認と参加の依頼あり。

審議事項

- ① 第1回理事会議事録の承認について 承認
- ② 例会場クラブ旗・国旗・横断幕作成 報告 承認
- ③ 7月27日夜間例会並びに会員懇親会 報告
新原直前会長より、当日の役割について、直前に声かけをして欲しいとの依頼あり。
吉田(大)幹事より、次回は予算を超過しないよう調整して欲しいとの依頼あり。
承認
- ④ 10月卓話プログラムについて 承認
- ⑤ 10月5日米山強調プログラムについて 承認
- ⑥ 10月19日職場訪問例会について 承認
- ⑦ 2024年1月11日(木) 理事会日程の変更(1月18日 11:00～)について 承認
- ⑧ 物価上昇等に伴う事務局員給与のベースアップについて 承認
- ⑨ 荒谷 壽一 君 出席規定の適用免除願いについて 承認

協議事項

ガバナー公式訪問について 審議の上承認

次回開催日

9月7日(木) 11:00～ANAクラウンプラザホテル広島



「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 川村副委員長



来客紹介
親睦活動委員会 崔君

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 福田君

本日(8月17日・木曜日)

会員数	90名	出席者	74名
欠席者	16名	ご来客	0名
ご来賓	1名	ゲスト	0名
		計	75名

4週前の例会2023年7月13日・木曜日

出席率 100%



● 同好会報告

※ 紫友会 川村世話人



8月12日(土)、芸南カントリークラブにて第2回 紫友会例会を開催いたしました。ちょうどお盆休みと重なり、いつもより人数少なめの24名の参加者でしたが、夏の甲子園にも負けない熱戦が繰り広げられました。

優勝は、OUT45 IN44 グロス89 ハンディキャップ24.3 ネット64.7で見事 村上(健)君が勝ち取られました。準優勝は柳原君、3位は松岡(輝)君、ブービー賞は長谷川(行)君でした。ベースグロ賞はグロス76で西原君が受賞され、シ

ニアの部の優勝は柳原君でした。

次回例会は9月9日(土)に芸南カントリークラブで開催いたします。



● 会員記念日

祝 連続出席100% (3名)

中村(哲)君(33年) 上田君(23年)
村上(健)君(7年)

● スマイルボックス SAA 長谷川(剛)副委員長



森脇君(自主申告・大枚)、香川(浩)君、中岡君、田戸さん

住吉神社では、7月31日・8月1日に広島3大祭り、広島の風物詩になっている「すみよしさん」が行われました。

香川(浩)君、中岡君、田戸さんなどの神楽の奉仕もあり、無事斎行さいこうできたことを感謝し出宝いたします。

新本君はウィリアム君とお祭り見物用船に乗っており、ダブルでの出宝をいただきました。

吉田(大)君(自主申告・大枚)

長男、旭範(あきのり)26歳が、同い年の彼女と8月10日に入籍いたしました。

世間では晩婚化が叫ばれる中、心配していましたがコロナ禍のおかげで単身者に火をつけたようです。最近では同棲・入籍・結婚式の順らしく結婚式は9月ですが、我が家に一人家族が増えたことに感謝し、大枚とともに自主申告します。

上野(彰)君(自主申告・ダブル)

8月6日、ロータリー交換留学生として壮亮(そうすけ)がアメリカに旅立ちました。現地空港ではホストファミリーが温かく出迎えてくださり、本人も私たち家族もほっと一安心しております。1年後には成長した姿を皆様にも見ていただけるであろうと期待しております。

昨年度・今年度の執行部の皆様、励ましの言葉をいただいた会員の皆様、本当に感謝しております。

田島君

広島経済レポート7月13日号に、広島アルミニウム工業が本地工場(山県郡北広島町新都)に来年6月からダイカストマシン3台を順次増設し、自動車エアコンの冷媒を圧縮する「モーターハウジング」などコンプレッサー関連部品の新規受注・増産に対応すると掲載されておりました。

またメキシコ工場でも新規受注に対応し、加工ラインの設備投資を行い、金型を製作していた長束工場は、本地金型工場に集約し解体し売却の予定だそうです。

田島さんと広島アルミニウム工業さんの益々のご発展を祈念し出宝をお願いします。

瀬崎君

広島経済レポート8月3日号に、脱炭素化の実現を目指す広島電鉄は自社の電力使用量の可視化に取り組んでおり、7月末までに測定結果を基に効率的な設備運転に繋げる計画だという記事が掲載されていました。

3月末に中区千田町の本社ビルと、グループのエイチ・ディー西広島のバス営業所にAI電流計を1台ずつ設置し、1日の電力使用量やCO2排出量を、照明や空調などの使用用途ごとに測定し、効率的な設備運転に生かすそうです。

瀬崎さんと広島電鉄さんの益々のご発展を祈念し出宝をお願いいたします。

● スマンボックス

森信君

お気に入りの雨傘がないので捜していましたら、本日受付横にありました。次回雨が降りそうになった時持って帰ります。

ANAの皆様よろしくお願いします。

■卓 話



「被爆の実相を世界へ」

広島平和記念資料館

館長 滝川 卓男氏

プロフィール

1958年、広島県呉市生まれ。広島大学経済学部卒業。国税専門官として税務署で勤務したのち、83年に広島市役所に入庁。平和施策総合推進担当課長、こども未来局長などを歴任。2019年3月に定年退職。同年4月、広島平和記念資料館の第13代館長に就任。

皆様、こんにちは。広島平和記念資料館の滝川でございます。

今日は、「被爆の実相を世界へ」と題しまして、お話をします。

1945年8月、広島、長崎に原爆が投下され、一瞬にして街は廃墟と化しました。78年が経った今なお、放射線による後障害は被爆者を苦しめています。

今年5月にG7サミットが広島で開催され、G7の首脳をはじめ、韓国、インド、ブラジル、オーストラリアなど8か国の招待国の首脳、そしてゼレンスキー・ウクライナ大統領が、平和公園・平和記念資料館を視察されました。これだけの首脳が被爆の実相に触れるという歴史的機会が実現したことは、大変有意義でありました。

資料館視察後のバイデン米大統領の記帳内容を紹介します。

「この資料館で語られる物語が、平和な未来を築くことへの私たち全員の義務を思い出してくれますように。世界から核兵器を最終的に、そして、永久になくせる日に向けて、共に進んでいきましょう。信念を貫きましょう。」

ロシアのウクライナ侵攻が長期化し、核兵器使用のリスクが高まる中、世界に12,000発余りある

核兵器をどう減らせていけるのか、核廃絶にむけてどう取り組んでいくのか、今後注目していきたいと思っています。

資料館では、1995年から米国・欧州を中心に海外原爆展を開催しています。現在まで20か国37都市延べ67回開催しました。

昨年10月は、ウクライナの隣国ポーランド・グダンスクで、今年はG7サミット直後の6月、イギリス・ダラムで開催し、現地でのオープニングセレモニーに参加しました。それぞれの都市での反響は大きく、再び核兵器が使用されればどんな結末になるのかを心に刻んでもらえたと感じたところです。

微力ながらも、こうした海外への発信をこれからも続けていき、核兵器のない世界への機運を高めていきたいと考えています。

～私の仕事は～

下岡 均
職業分類タイヤリサイクル業



使用済みタイヤを資源化しています。回収されたタイヤを、中古タイヤとして再利用、石炭の代替燃料として再生利用、ゴム粉に粉砕し加工利用を行い、環境負荷の低減を担っています。



●卓話予告

日時	テーマ
8/31(木)	会員組織部門強調プログラム

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 諏訪 昭浩
幹事 吉田 大蔵

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索